

## 資格取得に向けての勉強

J05015 緋色 烏丸

僕がシス研でやっていることは主に資格取得のための勉強です。昨年の秋に基本情報技術者試験を合格しました。それまでの体験談みたいなものを書いてみます。

僕は情報通信工学専攻ではありますが高校は普通科で、その頃はこの方面にほとんど興味がなく知識も0に等しかったです。進学してから1年間は基礎教育ばかりで情報通信に関する知識もほとんど身につけていない状態で2年生になりました。2年生の始めに教授から「情報通信の資格の底辺である基本情報技術者試験くらいは合格しておいたほうが就職のときに有利だ」という話をされてから資格取得に向けての勉強を始めました。

試験は春と秋の年2回しか行われないため、この時点で受けようとしても2年生の秋と3年生の春と秋の計3回。それ以降は就職活動で忙しくなってしまうため合計3回のチャレンジの中で合格するという計画でした。最初のうち、知識が全く無いといっても小学校のころに受験した漢字検定とかと同じくらい簡単に受かるだろうと思っていました。

2年生のときアルバイトをしていたため、ほとんど資格試験の勉強をすることなく夏休みに入りました。夏休みの勉強は、教科書のような本を1冊読みきり、過去問を解くという計画。毎日毎日読んでいましたが、暗記が苦手な本を読むのも苦手な性格なので、夏休みが1ヶ月以上あったにも関わらず1冊全部読みきることなく夏休みが明けてしまいました。予定の半分も終わっていません。そのまま秋の試験に臨み、見事に落ちました。結果としては、午後が合格点を超えていて、午前があと少しというところ。午後は僕の得意なC言語プログラミングの問題で点数を稼げたので問題なかったのですが、午前は完全なる暗記系。語句の意味がさっぱりで半分くらい適当に解答していました。

やることははっきりした。苦手だが午前問題の単語の暗記を集中的に勉強すれば合格すると。春に向けてそれから猛勉強・・・していれば2回目で合格していたかもしれません(苦笑)。

2年生の間はバイトばかりしていて、更にはJ専攻の2年生後期というと物理実験が入ってくるのでレポート漬けの毎日。なかなか基本情報の勉強に時間を割くことができませんでした。そして春休みもだらだらと終わり、3年生の春の試験は秋と一緒に結果。午後は合格、午前が不合格。これじゃまずい、とがんばったのが3年生の夏。3年生になると情報実験が入ってきて忙しくなりましたが、バイトをやめたので少し余裕ができました。夏休みに入る前から少しずつ勉強をしていき、夏休みでは午前問題の出題頻度が高い語句から積極的に覚え、休み後半では過去問も少し解くことができ自信につながりました。

そして秋の結果はようやく合格。午後はいつも通り難なくという感じでしたが、違ったのは午前。明らかに今までと違う。解いている最中に今までは「これでいいのかな」だったのが「これは絶対にこうだ」と言い切れるほど自身がありました。まあ全部が全部そうではなかったのですが、6割以上の問題が自身を持って答えられると手ごたえもかなり違ってきます。

こうして合格できたのもシス研の仲間がいてこそだと思う。同じ専攻はもちろん、シス研内の友人たちも同じ試験の合格を目指しています。「一緒に受験する友人たちに負けたくない」という気持ちから勉強のやる気は生まれたのだと思います。勉強内容は人それぞれだと思うけど、結局はその勉強をするという「やる気」の問題。これからいろいろなことに「やる気」を出して取り組んでいきたいと思います。